

2025 年 7 月 7 日

梶山女学園大学

多文化共生次世代育成のための 交流授業および出雲市を招いた産官学意見交換会

～外国にルーツをもつ若者の進学・キャリア形成をテーマに共創を考える～

梶山女学園大学（愛知県名古屋市、学長：黒田由彦）情報社会学部 現代社会学科 小林かおり准教授が研究代表者を務める「豊田市発！産官学連携による在留外国人定住化に向けた多文化共生次世代育成」（公益財団法人トヨタ財団 2024.5-2026.4 助成プロジェクト）において、日本人と在留外国人が一緒になって多文化共生と人材育成に取り組むプロジェクトを進めています。同プロジェクトの一環として、7 月 17 日（木）、豊田市で活動しているステークホルダーが集まり、ブラジル人を中心とする在留外国人次世代の進路やキャリアの現状について考え・検討する場として交流授業および意見交換会を実施します。

■交流授業

（背景・目的）

文部科学省の調査によると、2024 年 1 月時点で愛知県内の日本語指導が必要な児童生徒数は 12,738 人と、全国最多を記録しています。とりわけ豊田市は、2024 年 6 月時点で県内名古屋市に次ぐ外国人住民数を抱え、これまでも地域の NPO などがブラジル人を中心に日本語教育を担ってきました。一方で在留外国人の長期滞在化に伴い、進路やキャリア形成支援へのニーズが高まっていることから、トヨタ財団プロジェクト「豊田市発！産官学連携による在留外国人定住化に向けた多文化共生次世代育成」の一環として、本交流授業を実施いたします。

（ポイント・特徴）

1. 大学理解の促進

学食やキャンパスツアーを通じ、大学の雰囲気を感じ、進学への意欲を喚起します。

2. 成果の共有

2024 年度に三井物産株式会社が実施したキャリアセミナーのルーブリック評価（小林准教授監修）の結果を発表。支援の効果や今後の課題を考える。

3. ゲーム型教材による体験学習

本学学生が作成した進路・キャリア支援向けオンラインゲーム教材を活用し、ブラジル人学校の生徒と AI 通訳を交えたグループワークとチーム対抗戦を実施。進路やキャリアについて楽しみながら学べる環境を提供することで学習継続のモチベーションを高めます。

■意見交換会

（背景・狙い）

トヨタ財団プロジェクトでは、産官学連携の下で多文化共生と次世代育成に向けた活動を推進してきました。本意見交換会では、各ステークホルダーがこれまでの取り組みや課題、今後の連携計画を共有します。また、多文化共生活動は行政区を越えた協力体制の構築が望まれます。そこで、近年ブラジル人住民が増加傾向にある島根県出雲市の関係者を招き、互いの事例を比較しながら、豊田市における今後の協働の可能性を探ります。

【トヨタ財団プロジェクトの背景・考え方】

豊田市には、ブラジルからの一国集住となる地域があり、ポルトガル語で生活する住民が多いため日本語支援が必要な子どもの数も全国の中で群を抜いて多い現状です。日本語でのコミュニケーションが困難であることから、地域コミュニティから孤立して生活するだけでなく、進路および職業選択も極めて限定的になっています。

このプロジェクトでは、長期滞在化が進む外国人居住者の中でも次世代を担う子どもや青少年に焦点をあて、キャリア教育や職業支援等を実施することで次世代育成を目指します。産官学連携、高大連携、地域連携といったこれまで培ってきた様々なアクターとの協力関係を通じて持続可能性を担保した活動を行います。地元企業の最新 AI 技術も導入し、大学進学およびキャリア説明会、職業訓練体験ツアーの実施に加え、地域を共創していくツーリズムを立ち上げることで、日本人と在留外国人が一緒に多文化共生と人材育成に取り組むものです。

【交流授業・意見交換会】

日 程 : 2025 年 7 月 17 日 (木) 13 時から 16 時 30 分ごろ

場 所 : 椋山女学園大学 外国語学部棟 418 教室

参加者 : 椋山女学園大学学生 12 名・教員 1 名 伯人学校イーエーエス豊田生徒約 20 名・教職員 3 名 豊田市役所 3 名、出雲市役所 1 名、三井物産株式会社本店/中部支社 3 名、株式会社 People Cloud1 名、DXL 合同会社 1 名、NPO 子どもの国 3 名、(一社) JUNTOS 1 名ほか

【当日スケジュール (予定)】

11:00～ 伯人学校イーエーエス豊田到着・学食で昼食

昼食・カフェ利用後 (学生と音声通訳での交流) グループごとの学内見学ツアー (本学学生が案内)

※上記は取材公開いたしません。

13:00～ 交流授業

・はじめの言葉 (椋山女学園大学 小林准教授)

・豊田市の在留外国人への進路・キャリア支援の現状—キャリアセミナーの数値分析結果を交えて— (三井物産株式会社 関口様、椋山女学園大学 小林准教授)

・進路やキャリアに関する二言語でのオンラインゲームを 5 チームに分かれて作成およびチーム対抗戦を実施 (音声通訳での交流) (ゲームの説明: 本学学生愛知、通訳: 伯人学校イーエーエス豊田 奈良橋様)

・おわりの言葉 (豊田市役所 小澤様)

・写真撮影

15 時 15 分～ 豊田プロジェクトステークホルダーおよび出雲市との意見交換会

(ブラジル人住民が多い両市の特に次世代育成に関する産官学での情報交換会)

1. 現時点での取り組みの共有 *2 以降は取材公開いたしません。

2. 課題と課題克服に向けた計画・構想

3. 両市における協力・協働

* 参加予定組織: 豊田市役所 (二部署)、出雲市役所、三井物産株式会社 (東京本店、中部支社/豊田支店)、株式会社 People Cloud、DXL 合同会社、NPO 子どもの国、(一社)JUNTOS、伯人学校イーエーエス豊田、椋山女学園大学、※株式会社アイシンが参加する可能性有

NEWS RELEASE

【本件に関するお問合せ先】

学校法人梶山女学園 広報課 担当：渡部

TEL：052-781-5940

メールアドレス：kouhou@sugiyama-u.ac.jp